

## 前回定例会（令和7年4月9日）以降の資源エネルギー庁の動き

令和7年5月13日  
資源エネルギー庁  
柏崎刈羽地域担当官事務所

### 1. エネルギー政策全般

- 国際原子力機関（IAEA）の枠組みの下での追加的モニタリングの一環として、東京電力福島第一原子力発電所構内において、海水希釈後のALPS処理水の採取が初めて行われず【4月11日】

<https://www.meti.go.jp/press/2025/04/20250411003/20250411003.html>

4月15日（火曜日）、IAEAの枠組みの下での追加的モニタリングの一環として、IAEA関係者及び第三国分析機関の専門家が来日し、試料の採取を実施します。

今回の追加的モニタリングは、昨年9月に我が国とIAEAとの間で、IAEAの枠組みの下での追加的モニタリングを実施することで一致したことを受けて、昨年10月、本年2月に続き実施するものです。

IAEAの枠組みの下における今回の追加的モニタリングでは、東京電力福島第一原子力発電所構内において、IAEA関係者及び韓国、スイス、中国、ロシアの分析機関の専門家が、海洋放出前に海水による希釈をした後のALPS処理水を初めて採取する予定です。

- 国際原子力機関（IAEA）の枠組みの下での追加的モニタリングの一環として、東京電力福島第一原子力発電所構内において、海水希釈後のALPS処理水の採取が初めて行われました【4月15日】

<https://www.meti.go.jp/press/2025/04/20250415004/20250415004.html>

4月15日（火曜日）、IAEAの枠組みの下での追加的モニタリングの一環として、IAEA関係者及び第三国分析機関の専門家が来日し、試料の採取が行われました。

今回の追加的モニタリングは、昨年9月に我が国とIAEAとの間で、IAEAの枠組みの下での追加的モニタリングを実施することで一致したことを受けて、昨年10月及び本年2月に続き実施されたものです。

今回の追加的モニタリングでは、東京電力福島第一原子力発電所構内において、IAEA関係者及び韓国、スイス、中国、ロシアの分析機関の専門家が、海洋放出前の海水希釈後のALPS処理水を初めて採取しました。

経済産業省は、今後ともIAEAと連携し、国際社会に対して透明性高く情報提供を行っていくとともに、ALPS処理水の海洋放出の安全性について、国内外の一層の理解を醸成していくことに努めていきます。

### ALPS 処理水採取の様子



（当省 HP より転載）

○令和5年度（2023年度）エネルギー需給実績を取りまとめました（確報）【4月25日】

<https://www.meti.go.jp/press/2025/04/20250425004/20250425004.html>

資源エネルギー庁は、各種エネルギー関係統計等を基に、令和5年度の総合エネルギー統計確報を作成し、エネルギー需給実績として取りまとめました。

（供給動向）

- ・一次エネルギー国内供給は前年度比4.0%減。化石燃料は7.0%減と1991年度以降で最も落ち込んだ。非化石燃料は11.1%増で、再生可能エネルギー（水力を含む）は11年連続で増加。
  - 化石燃料は、石炭が8.7%減、天然ガス・都市ガスが7.9%減、石油が5.2%減といずれも減少。非化石燃料は、原子力の51.7%増、太陽光発電やバイオマスがけん引した再生可能エネルギー（水力を除く）の6.3%増などで、そのシェアは25年ぶりの高位となる19.3%まで上昇。
- ・発電電力量は前年度比1.4%減（9,877億kWh）となり、2010年度以降で最少。非化石電源比率は、東日本大震災以降で初めて30%を超え、31.4%まで上昇。
  - 発電電力量の構成は、再生可能エネルギー（水力を含む）が22.9%（1.0%ポイント[%p]増）、原子力が8.5%（2.9%p増）、火力（バイオマスを除く）が68.6%（4.0%p減）。
- ・エネルギー自給率（IEAベース）は、前年度比2.6%p増と東日本大震災以降で最高の15.3%。

## ○武藤経済産業閣議後大臣記者会見（毎週火曜・金曜、エネルギー関連抜粋）

### ➤ 4月15日 燃料デブリの試験的取り出し作業 他

<https://www.meti.go.jp/speeches/kaiken/2025/20250415001.html>

#### （燃料デブリの試験的取り出し作業）

（東電を監督する立場の経済産業省として見解）

福島でのデブリの件でありますけれども、本日から、東京電力が福島第一原子力発電所の2号機において、1回目の経験を踏まえた改善を行った上で、2回目の燃料デブリの試験的取り出しに着手をする予定と報告を受けているところであります。東京電力には、安全確保を最優先に対応してほしいと考えているところです。採取した燃料デブリの詳細分析などを通じ、燃料デブリの本格的な取り出し作業に有用な情報など、今後の廃炉作業に資する一層の知見が得られるものと期待しているところであります。

（少しずつ廃炉に向けた採取が進んでいっているこの状況について所感）

まずは、安全を最優先に対応していただきたいということ、それから、1回目から引き続いて、今度2回目ということになります。今おっしゃったように、場所をちょっと変えるとかということも考えながら、ここでまた大きくステップアップして、どういう形でこれから対応していけるのかという見通しを、何とかこの第2回目でも、少しずつ前進させていかなきゃいけないと思っています。これを受けて成功を祈っておりますし、廃炉というものが、やはり皆さんからはロードマップの問題も含めて、しっかりと先見性が取れるように、成功することを祈って、まずは安全第一ですけれども、その上で成功を祈るところでございます。

#### （ガソリン価格の動向と支援策）

185円を下回ったらどうかという話だと思います。足元、本当おっしゃられるとおり、原油価格の低下、そして、円高傾向であることから、激変緩和事業の補助額が小さくなっていることは、これはもう事実であります。しかし、今後の動向については予断を持たずに注視をしていかなきゃいけないと思っております。

現在、また、おっしゃられるとおり、自民・公明・国民の3党間で足元のガソリン価格を引き下げる方策について議論がなされているものと承知しているところであります。政府としては、協議の結果を踏まえて適切に対応していくものと考えておまして、現時点では協議の動向を注視しているということだと思います。

#### （次世代型地熱推進官民協議会）

クローズドループですとか、超臨界地熱などの次世代地熱技術が実用化できれば、日本の高い地熱ポテンシャルのさらなる活用が期待できるものと思っております。日本は、過去には世界に先駆けて次世代型地熱技術の調査を実施した経験がございます。また、従来型地熱、これも御承知のとおり、タービンの世界シェア約7割という強みもあります。こうした経験と強みを活かして、世界市場の獲得も見据えながら、2030年代早期に次世代型地熱技術の実用化を目指してまいりたいと思っております。昨日開催されました第1回目の官民協議会、これを引き続いて、具体的な目標ですとか計画を官民一体となって策定した上で、今後の方策に活かしていきたいと思っております。

➤ 4月18日 放射性廃棄物の最終処分 他

<https://www.meti.go.jp/speeches/kaiken/2025/20250418001.html>

(放射性廃棄物の最終処分)

(文献調査報告に対する意見書について)

まずは、頂いた御意見に対しまして、原子力発電環境整備機構、いわゆる NUMO ですけれども、見解をとりまとめていくものと承知しているところです。その上で、NUMO がとりまとめた見解を道知事及び両町村長に送付をし、概要調査実施に向けた申請がなされた後に、国が意見聴取をすることとなります。これらの作業を行うための時間も必要なため、意見聴取についても、その時期も含めて、現時点で予断を持ってお話しすることはできないと思っております。北海道庁からの御意見に限らず、選定プロセスに対して様々な御意見があることは承知しているところです。最終処分の実現に向けて、どのような形が良いのかという観点から、参考にさせていただきたいという、今、考えであります。

(ガソリン補助金)

補助が、円高あるいは原油がちょっと下がっていることもあってゼロになりました。報道も承知をしているところであります。6年度の補正予算、7年度予算ということで盛り込んだ政策を総動員しながら物価対策に取り組んでいるところでもあります。

電気・ガス料金、そして、ガソリンの小売価格、原油価格、この辺は、為替なども含めて今後も注視していかなくちゃいけないと思いますし、適切に対応していく必要があると思っております。

今年の夏も多分暑くなるのかなという気はしていますけれども、いずれにしても、今、まずガソリン代につきましては、3党合意の中、今も話を進められているものと思いますし、いろいろと報道は承知をしていますけれども、現状ではこういう形で注視をしていくということになると思います。

➤ 4月22日 燃料デブリの試験的取り出し作業 他

<https://www.meti.go.jp/speeches/kaiken/2025/20250422001.html>

(燃料デブリの試験的取り出し作業)

2回目の燃料デブリの試験的取り出しについて、今後の作業が予定どおり進んだ場合には、おっしゃられるとおり、明日、23日にも試験的取り出し作業を完了する見込みと承知しています。今回は、1回目とは異なる位置からの取り出しを実施しておりまして、燃料デブリの性状ですとか、分布などに関して一層の知見が得られることを期待しているところであります。東京電力においては、引き続き、まずは安全確保というものに全力を置いていただきながら、万全を期していただきながら、着実に取り組んでいただきたいと思います。

(電気・ガス料金支援、燃料油補助金)

燃料油価格の激変緩和事業であります。私どもは、脱炭素の流れを、やはり、これは意識しながらやっていくということを今までも申し上げてきました。一時的な、そういう意味の中で、緊急避難的な対応として実施をしてきておりまして、昨年秋の経済対策においても、出口に向けて段階的に対応すると、一点申し上げてきたところです。この考えに変わりはありません。

他方で、現在、物価高の中で国民生活を支える観点、これはもう与党において、電気・ガス料金、あるいはガソリン価格の支援策について議論がなされているものと承知しているところです。政府といたしましては、与党での御議論の状況も踏まえながら、エネルギーコストが家計や事業活動に与える影響を注視しつつ、適切な対応をとっていきたいと思っております。

➤ 4月25日 泊発電所3号機 他

<https://www.meti.go.jp/speeches/kaiken/2025/20250425001.html>

(燃料油価格定額引下げ措置)

○冒頭発言

今週、総理官邸でのぶら下がり総理から、燃料油の「定額の価格引下げ措置」を発表していただきましたけれども、これについて、皆さんにお願いも兼ねて御報告申し上げたいと思います。

ガソリンについては、リッター当たり10円引き下げることとしておりますけれども、流通の混乱が生じないように、段階的に補助額を増やしていくこととしていくところですので。このため、ガソリンの小売価格が、5月22日からすぐさま10円下がるわけではありません。また、ガソリンスタンド、ここは在庫がありますので、こういう残っている在庫も考慮しながら、補助の効果というものが小売価格に反映するには一定の時間がかかります。こうした点を、消費者の方々や事業者の方々にも正確に御理解をいただかないと、よく、給油を待っている方が渋滞をしたり、行列ができたり、そしてまた在庫切れ等々が起きる、こういう混乱を生じさせないためにも、皆さんの御協力を得ながら周知というものを、我々としても、しっかりやっていきたいと思っています。

具体的に言いますと、特設のウェブサイトを作ったり、経済産業省のXを通じた情報発信に加えまして、全国のガソリンスタンドに、ステッカーですとかポスターを配布しながら、給油中に目に留まる場所に貼っていただくように手配をさせていただく予定であります。

ぜひ、報道機関の皆様からも御協力や御助言をいただけましたら幸いです。

(泊発電所3号機)

泊発電所の3号機ですけれども、現在、原子力規制委員会の審査が行われており、現時点で私がコメントすることは適切ではないと思っております。北海道電力につきましては、原子力規制委員会の指導の下、審査に適切に対応してもらいたいと思っています。

その上で、泊発電所の再稼働というものは、電力の安定供給と脱炭素化の同時の実現、また、電力価格の抑制にもつながる重要な位置付けであると認識しているところであります。原子力発電所の再稼働に当たっては、原子力規制委員会が新規基準に適合すると認められた場合のみ、地元の理解を得ながら再稼働を進めるのが政府の方針であります。地元の理解については、地域の実情というものを踏まえながら、関係省庁と連携しながら丁寧に取り組んでまいりたいと思っております。

(電気・ガス料金支援)

今回の電気・ガス料金の支援でありますけれども、物価高に直撃され苦しい状況にある国民の皆さんがこの夏を乗り切れるように、夏期において最も電力使用の多い7月から9月に限って実施するものです。今おっしゃられたように、脱炭素化の流れ、またGXの取組への影響も勘案すれば、いつまでも続けるものではないという考え方に変わりはありません。

そして、その内容ですけれども、支援額を含め具体的な内容については、今後の燃料価格の動向ですとか電気料金の動向などを見極めた上で、5月中に決定をさせていただきたいと思っております。現時点で発表時期はまだ固まっております。

➤ 5月13日 太陽光パネルのリサイクル 他

<https://www.meti.go.jp/speeches/kaiken/2025/20250513001.html>

(太陽光パネルのリサイクル)

現時点では、今、この国会はだめだったということは聞いていますけれども、じゃ来年というか、臨時国会なのか常会になるのかということまではまだ聞いていないところであります。よろしかったですか。

(今国会で提出出来なかった理由)

※後ほど事務方から回答

(電気・ガス料金支援)

今まだ検討しているので、多分、ちょっと分かりませんね。早めに分かり次第、皆さんには御報告しなきゃいけないと思っていますけど、現時点ではまだ詳細は詰められていないところです。

○エネこれ(エネルギーの「これまで」と「これから」)

- (1) 未来のエネルギー技術が集結！大阪・関西万博の見どころをチェック ～資源の循環・モビリティ編【4月11日公開】

[https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/expo2025\\_03.html](https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/expo2025_03.html)

- (2) なぜ、日本は石炭火力発電の活用をつづけているのか？～2030年度のエネルギーミックスとCO2削減を達成するための取り組み【4月16日公開】

[https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/qa\\_sekitankaryoku\\_2025.html](https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/qa_sekitankaryoku_2025.html)

- (3) 大きく変化する世界で、日本のエネルギーをどうする？「エネルギー基本計画」最新版を読みとく(前編)【4月30日公開】

[https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/energykihonkeikaku2025\\_01.html](https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/energykihonkeikaku2025_01.html)

※「エネこれ」ホームページ

<https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/>

(当事務所でも紙媒体で配布しています)

※「みんなで考えよう、エネルギーのこれから(30秒Ver.)」(YouTube)

<https://www.youtube.com/watch?v=NrNNnZ0dLuA&t=9s>

●経済産業省 X 公式アカウント

[https://x.com/meti\\_NIPPON](https://x.com/meti_NIPPON)

●METI CHANNEL(当省のYouTube動画配信サイト)

<https://www.youtube.com/@metichannel/featured>

●資源エネルギー庁メールマガジン(配信登録)

<https://www.enecho.meti.go.jp/about/maimagazine/>

- 統計ポータルサイト（エネルギーに関する分析用データ）

<https://www.enecho.meti.go.jp/statistics/>

## 2. 事務所活動

- 新潟県議会 4月臨時会傍聴（4月18日）

4月16日から18日に開催された「直接請求に掛かる条例審査特別委員会」のうち、18日の特別審査委員会及び本会議を傍聴しました。

### 3-1. 各種委員会開催状況等（エネルギー全般）

※該当する委員会等の開催はありませんでした。

### 3-2. 各種委員会開催状況等（電気・ガス事業関連）

#### ○第8回 使用済燃料対策推進協議会【4月17日】

使用済燃料対策等に関する国の取組方針、使用済燃料対策の進捗状況等について報告・議論が行われました。

[https://www.meti.go.jp/shingikai/energy\\_environment/shiyozumi\\_nenryo/008.html](https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/shiyozumi_nenryo/008.html)

#### ○第15回 同時市場の在り方等に関する検討会【4月22日】

同時市場の制度に関する論点、電源起動・出力配分ロジックの技術検証（検証A）の進捗報告等について報告・議論が行われました。

#### ○第102回 電力・ガス基本政策小委員会制度検討作業部会【4月23日】

容量市場、長期脱炭素電源オークション、非化石価値取引、第二十一次中間とりまとめ（案）等について報告・議論が行われました。

#### ○第6回 特定放射性廃棄物小委員会【4月25日】

最終処分に関する最新の取組状況、文献調査報告書及び地層処分事業に関する北海道内及び全国的な理解活動等について報告・議論が行われました。

[https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku\\_gas/radioactive\\_waste/006.html](https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/radioactive_waste/006.html)

#### ○第38回 ガス事業制度検討ワーキンググループ【4月28日】

都市ガス需給ひっ迫時の情報提供等のあり方に係るガイドライン（案）概要、都市ガス需給ひっ迫時の情報提供等のあり方に係るガイドライン（案）について報告・議論が行われました。

### 3-3. 各種委員会開催状況等（新エネ・省エネ他）

#### ○第6回 ガス・石油機器判断基準ワーキンググループ【4月14日】

ガス温水機器の目標年度（案）、ガス温水機器の目標基準値（案）について報告・議論が行われました。

#### ○第1回 家庭用温水機器判断基準ワーキンググループ【4月21日】

議事の取扱い、本ワーキンググループの開催等について報告・議論が行われました。

#### ○ガス・石油機器判断基準ワーキンググループ 取りまとめ公表【4月21日】

○第4回 CCS 事業の支援措置に関するワーキンググループ【4月24日】

CCS 支援制度等について報告・議論が行われました。

※CCS：二酸化炭素分離・回収・貯留技術

○石油製品需要想定検討会 2025～2029 年度石油製品需要見通し【4月25日公表】

○第9回 次世代型太陽電池の導入拡大及び産業競争力強化に向けた官民協議会【5月7日】

次世代型太陽電池に関わる動向、ペロブスカイト太陽電池の事業化に向けた取組等について報告・議論が行われました。

○第48回 省エネルギー小委員会【5月12日】

更なる省エネ・非化石転換・DRの促進に向けた政策について報告・議論が行われました。

●第73回 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会【5月27日開催予定】

2030年エネルギーミックスの進捗状況と2040年に向けた取組について関係省庁ヒアリングが行われる予定です。

●第74回 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会【6月3日開催予定】

今後の再生可能エネルギー政策について報告・議論が行われる予定です。

3-4. パブリック・コメント募集中案件（当省原子力関連）

現在募集中の案件はございません。

※パブリック・コメント全体につきましては、e-GOVポータル「パブリック・コメント」をご覧ください。

（e-GOVポータル）

<https://www.e-gov.go.jp/>

（以上）